

わたしたちの人權

98

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできな
当然の権利。これが「人權」です。

あなたも、ぜひ参加を

5・23差別をなくす山都地区集会

差別のない明るい町づくりを推進するために、「第18回
5・23差別をなくす山都地区集会」が次の日程により開
催されます。たくさんの方のご参加をお待ちしてあり
ます。

第18回 5・23差別をなくす 山都地区集会

■日程 平成25年5月25日(土)

午前8時45分 アトラクション(矢響太鼓)
午前9時00分 開会(うたごえ)
主催・共催団体代表挨拶
問題提起、決意表明
集会宣言・スローガン採択
午前11時00分 閉会(うたごえ)

■場所 矢部中学校体育館

この集会は、部落差別をはじめ、いじめや
仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしてい
くことを目的に、子どもたちが主体となりな
がら、大人も共に学び合う集会です。
昨年の集会で一般参加者を対象にアンケ
ー調査を実施しました。回答があった約100
件の中から、一部を抜粋して紹介します。

○小学生や中学生の方々が真剣に差別につ
いて考えておられ、素晴らしいことだと思
います。保育園の頃から差別について考える
ことで必ず今後につながっていくと思いま
すので、この集会をこれからも続けていく
ことが大事だと思います。(20代・男性)
○子どもたちの発表に力強さを感じまし
た。この発表できる力、行動する力をこれ
からもつけていってほしいです。

○今回の発表はこれまでの発表と比べるとす
ぐ良く詳しく調べてありました。一人ひと
りが意識して考えていたと思いました。この
日だけの行動、言動でなく、ずっと、これ
から先も差別に対して考えてもらいたい
です。(40代・女性)

○年々、内容が充実してきていると思います。
今年には特に素晴らしかった。特に矢部小4
年生の発表に感動し涙が出ました。子ども
たちに、生き方のあるべき姿を学んだよう
な気がしました。(60代以上・女性)

○子どもたちのうたごえや太鼓を聞いてとて
も元気をもらいました。また、子どもたち
の学習発表を聞いて、たくさん考えさせら
れました。(50代・女性)
○子どもたちのひたむきな言葉に心打たれる
ものが多くありました。これまで来なかつ
た自分を反省しています。今日、出席しな
かった人たちに5・23の良さを伝え、どん
どん参加してもらいたいです。まずは知っ
てもらうことを第一にこの山都地区集会に
行ってほしいと思います。来れない人の意
見として「差別を知って当たり前」とい

う言い方はしないでほしいと思います。お
互い受け入れる気持ちで大事にこのすばら
しい5・23集会を作っていきたいです。

○5・23差別をなくす山都地区集会で感じた
ことは、石川さんは何も悪いことをしてい
ないのに文字が読めない逮捕されたというだ
けで警察が犯人扱いして逮捕された話が一
番印象に残りました。また山都地区集会
に参加して部落差別のことや、いじめ、仲
間はしるしのことを考えていきたいと思います。
(20代・女性)

○子供たちの発表を聞き、我々大人も頑張っ
て差別をなくす運動を広げていき、世界中
から差別がなくなる平和な時代にしなければ
と思います。もっと多くの町民の方に
も参加してほしい。(40代・男性)

昨年のアンケートでは、このように「参加
して良かった」という意見がたくさん寄せら
れています。今回も子ども達の元気な発表が
あります。大人のみならず、ぜひ参加して、
共に学び合いたいです。



昨年の5・23集会で元気に歌う子ども達

季節のうた

やまなみの会

ペン先に立春といふはずむもの
人影の少ない村の梅日和
旧道の村の四五戸や梅咲けり
お父さんあなたの好みし数の子を
母退院炬燵に座り豆を運る
正月を病院で寿ぐ夫哀れ
「家へ帰る」とくりかえし言う

通潤句会

畦塗りの鎌の動きや父仕込
先生の引越しといひ山笑ふ
清和短歌会
白々と梅満開の下に來し昂る心鎮めんと立つ
又一人孫の巣立ちし夕暮れは
流れる雲を追いて見守る
地下足袋のハゼを締むるも久々か
畠に出でて春の土踏む

馬見原酔山会

車座やしだれ桜を傘にして
畑を打つ一鎌毎にミミズをり
名残惜しお弁当にも花幾つ

赤澤富美子	草樹 萌	原田 和子	今村 芳子	本田健二郎	山下 弘子	菅 清次郎	菊池 成河	梶原 徹	原田由紀子	米田 定	高田 眞司	渡辺 勝子	畑野フミヨ
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------

書道

花移日影流亭午風
送鶯聲度翠微

淳子書

和光教室書道部の八田豊久さん(入佐) 作

編集後記

気づいていませんでした、広報
やまとの担当になるまでは...。
4年間、カメラを通して見た山都
町は、美しい花や風景、そしてさ
まざまな分野で輝く人たちが、元
気な地域ばかり。新たな発見も多
く、感動の連続でした。その感動を、
いかにして伝えようかともがき続
けた4年でした。4月の人事異動
により広報誌担当を離れます。取
材などご協力いただいた皆さまと、
ご愛読いただいた皆さま、そ
して家族に深く感謝します。あり
がとうございました。(藤川)

5月の当番医
5月5日 そよう病院(電話83-1122)
5月12日 高田整形外科(電話72-1007)
5月19日 坂本クリニック(電話72-0210)
5月26日 伴病院(電話72-0029)

山都町の人口

(平成25年3月31日現在)

男 8,307人 (-71)
女 8,905人 (-67)
計 17,212人 (-138)
世帯 6,741戸 (-25)

※()は前月比
※最高齢は106歳〔女性1人〕
※1月1日～3月31日の出生届数
27人(うち3月は13人)
※1月1日～3月31日の死亡届数
91人(うち3月は31人)

4月から広報誌の担当をするこ
とになりました。これまで何度か
取材や撮影へ行きましたが、取材
の仕方からカメラの使い方、全
てが初めての経験です。パソコンを
開けば前任者の素晴らしい写真と
業績。気分が落ちかけていたそん
な時、小学校の入学式に写真撮影
へ行きました。そこで出会った新
1年生の溢れんばかりの元気のよ
さに「自分も頑張ろう」と気持ち
を入れ替えることができました。
これから色々な所へ赴き、発見し、
皆様へ少しでも伝えていければと
思います。どうぞよろしくお願
いします。(K)